

Point

2020/8/31 No. 3

JR東労組青年部

(東日本旅客鉄道労働組合青年部)

発行責任者 武田 太希

JR東労組青年部 第36回定期委員会



8月25日、本部大会議室において第36回定期委員会を開催しました。定期委員会では10名の委員から組織強化・拡大の報告や職場現実について、施策の問題点からJR東労組の必要性を訴えた実践が出されました。



各委員の発言（要旨）

- ・JR東労組の必要性を訴えるため、マスク購入運動を行い、青年部員に渡した。
- ・青年部員が少ない中、レクを通じて横のつながりをつくり出した。
- ・JR東労組が何をやっているか気になっている離脱者は多く存在する。情報を通じて加入・再加入の運動へつなげていく。
- ・青年部運動を通じて人として成長することが出来た。今後も担い手を意識して行動していく。
- ・再加入の取り組みの中で、壁をつくっていたのは自分だと仲間と話して気がついた。12地本でJR東労組運動や青年部運動をつくる必要がある

1人も置き去りにせず、全ての仲間と共に新生JR東労組運動を押し進めよう！

